

2019年4月17日

神戸学院大学 交換・派遣留学生 報告書

氏名	細川 楓花		
所属	人文 学部 人間心理学科	留学開始学年	3 年次
留学機関名	リーズ大学 (国名：イギリス)		
留学先所属	Language Centre		
留学形態	<input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 語学+学部 <input checked="" type="checkbox"/> 語学		
留学期間	2018年10月 ~ 2019年3月		

1. 出発前について

ビザ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ビザ種類(Short term study)	ビザ申請先	<input checked="" type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所(心齋橋駅、松屋駅周辺)
必要書類 手続に要した期間	パスポート、英語レベルの証明できる書類、英文残高証明書、入学許可書		
ビザ申請以外に必要な手続き	海外保険の加入、インターナショナルカードの発行		
留学先の手続き (必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか)	インターナショナルカードにおいて、三井住友の場合は SMBC デビットをネットから申し込むことができ、自宅に届く。		
留学前に必要な経費 (概算)	<input checked="" type="checkbox"/> 授業料 40万 円 <input checked="" type="checkbox"/> 住居費 35万 円 <input type="checkbox"/> 教材費 0 円 <input checked="" type="checkbox"/> ビザ申請 5万 円 <input checked="" type="checkbox"/> 渡航費(片道・往復) 16万 円 <input checked="" type="checkbox"/> 海外旅行保険 10万 円 <input type="checkbox"/> その他 円		

2. 出発～到着時の生活

利用航空会社	キャセイパシフィック	手配会社	e-Dreams
移動経路(往路)	関西国際→香港国際→マンチェスター	到着時刻	午前7時 マンチェスター

空港から大学（滞在先）への移動手段	<input type="checkbox"/> 大学の出迎え <input checked="" type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関（ <input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
空港から移動する際の注意点、行き方	マンチェスター空港から電車にのるとき、ひたすら看板に指示に従って歩くと着く。また、電車で向かうときは割高だが日本語サイトを利用して日本であらかじめオンラインで購入すると安心である。		
住居タイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他（シェアハウス）	住居手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で <input type="checkbox"/> その他（ ）
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 個室（キッチン、シャワー、トイレは共有） <input checked="" type="checkbox"/> 2人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> その他（1人で使っていた）	ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの学生 <input type="checkbox"/> 現地の学生 <input type="checkbox"/> その他（ ）
住居申込手順	リーズ大学 accommodation のサイトに入り、リーズ大学の学籍番号、パスワードを入力し、（パスワードはあらかじめ登録をしておかなくてはならない）ログイン。希望の accommodation を選択し申し込む。数日後どこに割り当てられるかのメールが返ってくるので同意か交渉する（希望条件等の内容）かの返信をする。希望通りにいくとは限らない。		
住居でのトラブル及び解決方法	家の設備が壊れる、フラットがうるさいなどのトラブルは accommodation office に行くか、Residential service に連絡する。		
大学までの距離	大学内であったため 0 分		
1 ヶ月の生活費及び内訳（概算を円で）	生活費合計 12 万 円/月 （生活費内訳） 家賃： 7 万 円、光熱費： 0 円、通学費： 0 円、 食費： 5 万 円、通信費： 2000 円、書籍代： 0 円、 その他（ ）： 円		
その他生活に必要な手続き、アドバイス（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払等）	病気になったときのためにかかりつけの病院を見つけておく方が良いと思う。口座開設をする必要は無いかもしれない。携帯電話は日本で SIM フリーにして、giffgaff (SIM カード) を日本にいる間にオンライン注文して出発時にお金を払って入れ替えた方が良い。		

3. 留学先の大学について

授業の概要について (授業形態、単位、勉強方法等)	クラス分けをされる。1term 3つのトピック、2つのプロジェクトがある。主にトピックに沿ったスピーキングが多い、課題でプレゼン、ライティング、リスニングがある。午前中は3時間通しで休憩は20分ある。午後は休憩なしの2時間だった。	
履修登録の時期及び方法	<input type="checkbox"/> 渡航前 <input type="checkbox"/> 渡航後 (月頃) <input type="checkbox"/> オンライン登録 <input type="checkbox"/> 書類で提出 <input checked="" type="checkbox"/> その他(勝手に組まれていた)	
履修した科目	受講期間: 2018年10月8日 ~ 2019年	10単位
	3月15日	
履修した科目 ・GE ・GE+ ・LinC		
留学生特別措置 (履修制限、優先措置、留学生専用オリエンテーション、チューター制度等)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・2週間に1度チューターと Consultation がある ・最初の授業にオリエンテーションがある <input type="checkbox"/> 無	
留学先大学でのサポート体制 (語学面/学校生活/住居、日常生活面等)	Consultation の時、語学面で自分が改善したい部分の相談ができる。(クラス替えも理由によるができる) 学校全体に Wi-fi がある。留学生向けのイベントが多い。基本的に住居の設備は良い。Accommodation にもよるが、学校のジムが寮費に含まれている。	
留学先大学の手続きについて (学生証、履修登録、大学IDの設定等)	学生証発行をする際、パソコンで minerva にログインし、個人情報登録をしたあと、ziff building にカウンターに行き、学生証発行を頼んだらその場で作ってもらえる。	
授業外活動について (サークル、部活、インターン、フィールドワーク) ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけ等具体的に	Face book や Leeds student union のサイトからイベントを探して参加した。Japanese society や留学生向けのイベント International student club、Living room、Conversation club、Global café に積極的に参加し、友達を作った。それらは課外活動オリエンテーションのようなものに参加したときに見つけた。また、頻りにジムに通ったり、日本の文化を広めるためのボランティア「Sakura Festival」の企画で集まった。ランゲージパートナーを見つけたいと Language centre の受付の人をお願いすると登録などのやり方を教えてもらえ、パートナーを見つけられる。	

5. 一週間の生活（授業、課外活動、勉強、プライベート等について）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	GE	GE	GE	GE	GE	ジム、勉強、遊ぶ	ジム、勉強、遊ぶ
午後	Consultation, GE+	LinC	ジム、勉強、遊ぶ	LinC	ジム、勉強、遊ぶ		
夜間	Global café, Japanese society, ジム、勉強	Living room, ジム、勉強	International student club, さくらフェスのミーティング	ジム、勉強			

4. 留学期間成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学力、考え方、培われた能力）
<p>語学力は伸びたが、留学する前に英会話の勉強をもっとすべきだったと思う。語学力の向上はもちろんであるが、自立した人間になりたかったため、不安が沢山ある中、積極的にイベントに参加したり、一人旅を7回（計20日）行った。一人でジムや学校の手続きから行い、一人旅においては自分ですべてフライトやホテルを取り、どの観光地に行くかなど考えた。そこでチャレンジ精神、行動力、計画性、自立心が養われたと思う。また日本人は集団行動しがちであるが、留学中にしすぎない方がいい、留学に来てまで日本と同じような生活はすべきではないと思った。また、ランゲージパートナーやフラットメイトと積極的に会話をすることでより語学力が向上できた。アジア差別なのかイギリスのレストランなどであまり良い扱いをされなかった時があり、どんな回答であれ自分の気持ちを伝えること大切だと思い、その時は我慢せずにはっきりと自己主張をした。語学力や対人関係での葛藤があり、悩んだことが多かったが、語学に関してはその日自分ができることを全力で行い、対人関係に関しては考えすぎないことを心がけた。</p>

同じ大学へ留学する後輩へのアドバイス（留学先大学、授業や勉強に関すること、生活全般等について）

留学する前に英会話の練習やどんな人間になりたいかなどの目標をしっかりと決めて行くべきだと思う。海外だからこそ自分の殻を破るチャンスだと思って何でもチャレンジして欲しい。

私の経験上海外で安全に過ごす方法は、旅行時において鞆を 2 つ持ち、1 つは服の中にパスポートや財布など入れ、もう 1 つは傘や飲み物などを入れ、いつものように使う。クレジットカードは内ポケットなど数個分散させた方が良い。知らない人に声をかけられても無視、何も受け取らずに逃げる、お金を引き出す際は人が使っている ATM を使う。

日本食が恋しくなったら割高だがアジアンスーパーに行くといい。

個人的に大学の設備は素晴らしかった。毎週月曜日に大学で屋台が出ていて、外部から有名なアイスクリームやブランドなどがトラックで来る日もあり、カフェや図書館も多かった。

博物館、美術館、ミュージカル、サッカー、パブなどイギリスならではのものを見て、聞いて、感じてほしい。

留学を通しての感想

一言で言うと、充実した半年だった。一人で留学し、はじめの一週間は不安がとてもあり、カルチャーショックとホームシックで日本に帰りたかった。しかし友達が増え、色々な経験をするによって考えが変わっていき、次第に生活が楽しくなっていった。最後には帰りたくなくて泣いてしまうほどの良い思い出が沢山詰まった留學生活にすることができた。この半年でなりたい自分に近づけることができ、留學前に考えられなかった一人旅も経験でき、一人の人間として自信もついた。新たな目標ができたので、この留學で経験したことを糧にしてこれからもチャレンジしていきたい。

